



[運転席からの死角場所を体験する児童たち]

テーマ

Theme

こども交通安全教室

学校・園名

School name

甲賀市立小原小学校

講師等

Lecturer etc.

ヤマト運輸株式会社滋賀主管支店

実施日

Date

2018年5月16日

教科等

Subject etc.

学級活動

授業

Class



甲賀市立小原小学校において安全指導員7名を講師に迎え、ヤマト運輸(株)滋賀主管支店との連携授業「こども交通安全教室」が行われました。

低学年には「横断歩道・道路の渡り方」、高学年には「制動距離を考える」をテーマとして実施しました。

授業のはじめに、児童ひとりずつ冷蔵車に乗り、運転席からは歩行者が見えない部分があるという死角を理解しました。

低学年はその後、「トラックの下にボールがはいつてしまった時にどうするか」を考えたり、運動場に書かれた横断歩道とミニ信号機を用いて実際に横断歩道を渡る体験をしました。

高学年は、自転車の点検のポイントを質問形式で学び、制動距離についてクイズ形式で考え、直前で急ブレーキをかけても急に止まれないトラックを見て、飛び出すことの危険性についてしっかりと学習しました。

講師は繰り返し「自分の命は自分で守ろう」と子どもたちに伝えました。

感想

Impression

児童より Impression from Children

- 自転車に乗ったり散歩に行くとき、車や特にトラックに気をつけようと思いました。
- ヤマトのトラックにのせてもらって中に冷蔵庫がありました。横断歩道の渡り方をこれから守ります。
- 次から自転車に乗るときにチェーンやサドルの高さを見て自転車に乗りたいです。
- ボールがクルマの近くに入ったらお母さんに言ってとってもらおうと思いました。

学校より Impression from school

事前の打合せに時間がかからずありがたかったです。時間や内容をこちらの要望に添って実施していただき、児童にとってわかりやすく、興味を持てる内容を工夫していただきました。

講師より Impression from lecturer

低学年と高学年のに2時間開催でしたが、内容を変えてできたのでよかったと思います。先生にも協力をいただきよい連携ができたと思います。グラウンドで暑い中での授業でしたが、集中して取り組んでくれて、とても感心しました。